

市議会だより



市議会も綱練りや一番太鼓で参加しました
(9月22日 川内大綱引)

令和5年第3回定例会


【主な内容】

- 主な議案
（「令和4年度決算822億6138万円を認定」その他33件の議案を議決）…………… 2
- 総括質疑並びに一般質問…………… 6
- 委員会報告（私たちが慎重にチェック）…………… 11



友だち
募集中



自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
ダウンロード
はこちら 

発行／薩摩川内市議会
編集／広報委員会

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号
TEL 0996-23-5111 FAX 0996-23-5015

令和4年度決算(一般・特別会計)

822億6138万円を認定

その他33件の議案を議決

令和5年第3回定例会を8月22日から10月5日までの45日間の会期で開催しました。今定例会では、令和4年度各会計決算13件を認定し、令和5年度の補正予算や、薩摩川内市使用済核燃料税条例の制定などの議案27件を原案可決したほか、人権擁護委員候補者の推薦(4人)、公平委員会委員の選任(1人)、教育委員会委員の任命(1人)等、6件の人事議案について同意しました。また、請願1件を採択し、継続審査としていた陳情2件を不採択としました。

決算

実質収支(一般・特別)
39億2千507万円の黒字決算

令和4年度決算における支出済額は、一般会計で569億9千552万円、9特別会計で252億6千586万円となり、歳出総額で822億6千138万円となりました。翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支39億2千507万円の黒字決算となりました。

-
-
-

▼監査委員の審査意見から(抜粋)
①経常収支比率は、91.3%で、財政構造の硬直化が続いている。

- ②収入面においては、住民負担の公平性から、市税の債権回収を強化する必要がある。
- ③執行面においては、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう、これまで以上に費用対効果を念頭にした事務に努められたい。
- ④予算については、精査と適切な管理に努めるとともに、多額の不用額が生じることのないような管理に努められたい。
- ⑤支出面においては、補助金交付については、関係書類からその効果等を検証し、公平性・透明性・妥当性の確保に努められたい。
- ⑥今後も社会保障、公共施設の維持、自然災害への対応など、行政への要請は更に高まることと予想される。よって、健全な行財政運営のためにも、各種事務・事業の振り返りを

令和4年度 一般会計及び特別会計決算状況

会計名		歳入総額	歳出総額	形式収支
一般会計		606億7054万円	569億9552万円	36億7502万円
特別会計	温泉給湯事業	4678万円	4383万円	295万円
	浄化槽事業	1113万円	1113万円	0円
	天辰第一地区土地区画整理事業	2億7412万円	2億6275万円	1137万円
	天辰第二地区土地区画整理事業	7億7312万円	7億2639万円	4672万円
	入来温泉場地区土地区画整理事業	1億5416万円	1億3377万円	2040万円
	国民健康保険事業	110億1242万円	109億3985万円	7257万円
	国民健康保険直営診療施設勘定	8億9744万円	8億9582万円	162万円
	介護保険事業	113億7066万円	108億3167万円	5億3899万円
	後期高齢者医療事業	14億2258万円	14億2064万円	195万円
特別会計の合計		259億6242万円	252億6586万円	6億9656万円
一般・特別会計の合計		866億3296万円	822億6138万円	43億7157万円

※ 千円以下の端数処理の関係で、合計が一致しない場合があります。

行い、社会・経済情勢の動向を的確に把握するとともに、経費削減や財源確保に取り組み、地方自治の本旨である公平・公正なサービスの実現により、市民福祉の向上を望む。

□ ■ □

決算については、次のとおり
反対討論がありました。採決の結果、いずれも認定されました。討論の概要は次のとおりです。

反対討論

井上 勝博 議員

【一般会計】
① 新型コロナウイルスの感染拡大（第7波）への備えに十分な予算が組まれていなかった。

- ② マイナンバーの普及に予算が組まれたが、マイナポイントにより、あまりにも拙速に進めた結果、様々なトラブルを引き起こしたことから、制度自体を問い直すべきである。
- ③ 自衛官適齢者名簿の提出について、本人に断りなく勝手に自衛隊に名簿を提供するべきではない。
- ④ 消防指令業務の広域化において、地域に不慣れな職員はいないというが、間違った指令を出すリスクが高くなるのではないか。
- ⑤ 甌島備蓄電池導入共同実証事業による本市へのメリットが不明である点を指摘する。
- ⑥ 国保・介護保険・後期高齢者医療事業特会に、法定外繰入れを全くしていない。

令和4年度 全会計における市債と基金の残高

区分	年度末残高	前年度比
市債	466億3152万円	95.9%
基金	171億9137万円	104.6%

令和4年度 公営企業会計決算状況

公営企業会計名	決算額	
水道事業	収益的収入	19億4975万円
	収益的支出	16億4094万円
	資本的収入	2億4362万円
	資本的支出	10億7033万円
簡易水道事業	収益的収入	3億1154万円
	収益的支出	2億7451万円
	資本的収入	1億2741万円
	資本的支出	1億8305万円
下水道事業	収益的収入	8億8247万円
	収益的支出	7億9953万円
	資本的収入	9億 656万円
	資本的支出	10億8665万円

【国民健康保険事業特別会計】

○法定外繰入れを増額し、国保税を引き下げるべきである。

【介護保険事業特別会計】

○一般会計からの繰入れを行い、介護保険料の引下げと介護サービスの充実を目指すべきである。

【後期高齢者医療事業特別会計】

○窓口負担が2倍になった方もいる。本制度は、高齢者を年齢で別枠の医療保険で囲い込んで負担増と差別医療を押しつけるものであり、同制度を廃止し、元の制度に戻すべきである。

補正予算



令和5年度一般会計は、第7回補正の1補正で、13億789万8千円を追加し、総額で579億3千864万3千円となりました。

第7回補正予算の概要

- ① 国県補助事業における補助内示等に伴う予算の増減
- ② 純繰越金確定に伴う法定積立に係る財政調整基金への積立て

【主な事業】

◆鳥獣被害対策事業

4千335万2千円

○有害鳥獣捕獲等委託事業
鳥獣被害対策実践事業（うち緊急捕獲活動支援事業）委託費を県補助金内示額に併せて増額補正するとともに、有害鳥獣捕獲等委託料（市単独事業）を増額補正するもの

○鳥獣被害防止施設導入支援事業（市単独事業）
農林産物への鳥獣被害を防止又は軽減する施設の設置に係る経費の補助を増額補正するもの



◆消防資機材整備事業

3千639万7千円
中央消防署下甌分駐所に配

備する救急自動車を更新整備するもの

- ・高規格救急自動車1台
- ・高度救命処置用資器材救急付属品一式



◆祁答院地域小学校再編事業

2千836万2千円

祁答院地域の小学校再編に伴い、再編先となる大東小学校の施設・設備の改修及び校旗等の備品の整備を行うもの

- ・体育館補修、ICT機器移設・設定作業等業務委託
- ・校舎・体育館設備改修工事
- ・校旗・公印備品購入等



◆一般道路整備事業

2千800万円

関係機関との協議が整ったため、道路整備を行うもの
・可愛小学校線／道路拡幅
・瀬ノ岡・丸山線／用地購入

◆放課後児童クラブ施設整備事業
2千560万円

子ども・子育て支援事業計画に基づき放課後児童クラブについて、放課後児童対策の推進を図るため、必要な施設整備費を補助するもの

・放課後児童クラブ施設整備
(新設・移設) 2件



◆地域間幹線系統確保維持事業
2千71万9千円

広域のかつ幹線的なバス路線の確保・維持を図るとともに、地域住民の福祉を確保するため、民間路線バス事業者に対して、国、県及び市が協調して補助金を交付するもの

・対象者 民間路線バス事業者
(3事業者/4系統)

◆九州・台湾クリエイティブ
イーク事業
500万円

日本、台湾及びアメリカの産官学金の多様なキーマンが、本市に一堂に会し、経済交流の促進等を図る機会として、令和5

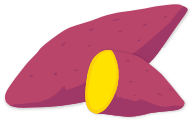
年11月に「九州・台湾クリエイティブイーク」と題したフォーラムを3日間開催するに当たり、実行委員会に対して負担金を拠出するもの

◆薩摩川内市誕生20周年記念ロゴマーク制作事業
105万9千円

薩摩川内市誕生20周年の気運醸成や市のPRを図るため、20周年記念ロゴマーク及びノベルティを制作するもの

◆サツマイモ基腐病対策推進事業
101万9千円

サツマイモ基腐病のまん延防止や発生予防を図るため、排水対策や土壌改良を行う経費を補助するもの



条例など

印鑑登録証明書が専用の端末機等で交付可能に

「薩摩川内市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について」は、反対討論がありました。が、原案のとおり可決しました。

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の公布施行による電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、本市においても、専用の端末機等での印鑑登録証明書の交付について、移動端末設備利用者証明用電子証明書により受けられるようにするほか、所要の規定の整備を図ろうとするもの



反対討論 井上 勝博 議員

個人情報保護制度を一元化し、マイナポータルを使用した情報連携でデータの集積を図っているが、集積した情報は攻撃されやすく、漏えいのおそれがあるほか、徴税強化、社会保障費抑制、民間事業者のもうけの種として、更に情報が流出するリスクを認めることはできない。

使用済核燃料の法定外普通税に係る条例を整備

「薩摩川内市使用済核燃料税条例の制定について」は、原案のとおり可決しました。

薩摩川内市使用済核燃料税条例が令和6年1月4日限りで失効することに伴い、貯蔵されている使用済核燃料に係る法定外普通税を令和6年度から令和10年度まで課税することについて、地方税法の規定に基づき、条例で必要な事項を定めようとするもの

北薩3消防本部指令センターシステム構築整備事業の事業契約を締結

「北薩3消防本部指令センターシステム構築整備事業契約の締結について」は、反対討論がありました。が、原案のとおり可決しました。

北薩3消防本部消防通信指令事務協議会規約に基づき、本市がさつま町・阿久根地区消防組合消防本部と共同して実施する北薩3消防本部指令センターシステム構築整備事業で、事業契約を締結しようとするもの。

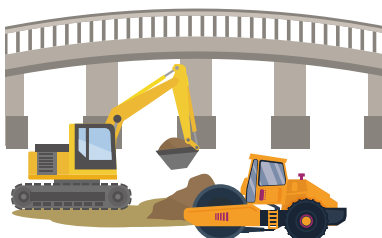
反対討論 井上 勝博 議員

消防指令業務の広域化は、対象地域の市民が知らないうちに進められているとともに、通報の増加による業務の多忙化と、地理に不慣れな職員による間違った指令を伝えるリスクが高まることから、消防指令に対する市民の信頼を失うことにならないか。

開戸橋の耐震補強工事に係る工事請負契約を締結

「道路メンテナンス事業開戸橋耐震補強(P3)工事請負契約の締結について」は、原案のとおり可決しました。

道路メンテナンス事業開戸橋耐震補強(P3)工事について、工事請負契約を締結しようとするもの



景観計画区域の届出が不要な範囲を拡大

「薩摩川内市景観条例の一部を改正する条例の制定について」は、原案のとおり可決しました。

景観法に基づき条例で定める景観計画区域内における届出を要しない行為について、工業地域、工業専用地域及び田園住居地域における一定の建築物の建築等を追加しようとするもの

請願

地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願書採択

本請願についての討論はなく、採決の結果、採択しました。

陳情

高レベル放射性廃棄物処分施設建設調査についての陳情書不採択

本陳情については、反対討論があり、採決の結果、不採択となりました。なお、採決結果に対しては付帯意見を付することとしました。

反対討論

井上 勝博 議員

最終処分場については、日本列島に数万年以上安定性を保証できる地層は期待できないが、まずは全ての原発をゼロにして核廃棄物の排出を止めた上で、最終処分場をどうするか、国民の合意を得て処理すべきである。

原子力規制委員会からの基準地震動の見直しについて九州電力が対応に時間がかかっている理由の説明を求める陳情不採択

本陳情については、賛成討論がありました。採決の結果、不採択となりました。

賛成討論

井上 勝博 議員

本陳情は、原子力規制委員会が取り入れた基準地震動の新たな評価方法を受け、基準地震動が既存の値を上回った場合の耐震工事にまで言及して追跡調査を求めている。よって、本陳情は継続審査とすべきである。

委員会視察の状況

視察の調査結果を、9月定例会にて報告しました。報告内容の詳細は、議会事務局が所管するホームページや、調査報告書にてご確認いただけます。

生活福祉委員会

(1) 調査日

7月12日～14日

(2) 調査項目

- ① 災害現場映像通報システム及び災害現場活動対応車両について
- ② 安全・安心見守りネットワーク事業について
- ③ 公共下水道事業（管路施設の包括的民間委託事業）について



愛知県岡崎市

産業建設委員会

(1) 調査日

7月25日～27日

(2) 調査項目

- ① 今後の原子力政策の動向について
- ② 原子力規制委員会における審査状況について
- ③ 高浜町議会との意見交換



北海道室蘭市

- (1) 調査日
7月12日～14日
- (2) 調査項目
① 空家等対策について
- ② 観光振興について



【北海道江別市】
【北海道室蘭市】

川内原子力発電所対策調査特別委員会

(1) 調査日

7月25日～27日

(2) 調査項目

- ① 今後の原子力政策の動向について
- ② 原子力規制委員会における審査状況について
- ③ 高浜町議会との意見交換



福井県高浜町

【資源エネルギー庁 原子力立地政策室 (東京都千代田区)】
【原子力規制委員会 (東京都港区)】
【福井県高浜町】

総括質疑並びに一般質問



令和5年第3回定例会では、8月31日・9月1日・4日・5日の4日間で、総括質疑並びに一般質問が行われました。

今回は議員14人の個人質問により、市政全般における市の考えを問い、政策の提案を行いました。

本コーナーの掲載内容は、各議員自らが質問と答弁を要約し、本市議会の広報委員会が体裁を整えたものになります。

●議員の顔写真の下に掲載しておりますQRコードを、スマートフォン等で読み取っていただくことで、「総括質疑並びに一般質問」の録画映像をご覧ください。

●録画映像では、本コーナーで詳しく扱えなかった「その他の質問項目」についても、ご確認ください。

答 災害時に加え、平時においても住民への丁寧な周知に努めている。今後これまでの対応等を検証して市民の声に耳を傾け、甌島が抱える災

問 現在の避難体制は島民に寄り添っているか。

答 2台風などの災害時にける島民の避難体制

答 歯科医師や関係職員との面談や全体でのミーティングを月1回は行うなど、職場の良好な雰囲気作りをし、島民が受診しやすい環境作りを努めたい。

問 前定例会で質問した、上甌地域における今後の対応・対策は

答 甌島区域の歯科診療所

甌島島民が暮らし続けられる生活環境を

みぞかみ かず き
溝上 一樹



動画視聴 

その他の質問項目

- ①災害時の医療体制
- ②停電地域の具体的対策
- ③現在の定期船利用における問題点・課題点

問 休日の使用ルールは

答 条例などにより、第3日曜日を休館日とし、やむを得ない場合は、これを変更することができ

問 上甌地区コミュニティセンターの管理体制

答 待合所としての用途を廃止している現状や、利用頻度等を踏まえて判断した。

問 解体に至る理由は

答 解体に向けた調整を進めており、活用は想定していない。

問 今後の計画は

答 害対応の特殊性を踏まえて、市民に寄り添った対応に取り組みたい。

問 鹿島港旅客待合所の今後

答 鹿島港旅客待合所の今後

答 サークキュラーパーク九州によって、事業の本格実施に向けた、既存設備の撤去や新規設備の設置準備が進められている。今後の展望は、幅広い廃棄物を再資源化のためのリソーシング事業

問 川内(火力)発電所跡地の整備と展望は

答 事業内容は、水深12mの耐震強化岸壁及び航路・泊地を国が整備し、埠頭用地及び荷役機械を県が整備することとなっており、今後、令和7年度末に暫定供用、令和9年度末に全面供用が予定されている。

問 唐浜地区国際物流ターミナル整備事業における今後の展望は

答 事業内容は、水深12mの耐震強化岸壁及び航路・泊地を国が整備し、埠頭用地及び荷役機械を県が整備することとなっており、今後、令和7年度末に暫定供用、令和9年度末に全面供用が予定されている。

問 唐浜地区国際物流ターミナル整備事業における今後の展望は

答 事業内容は、水深12mの耐震強化岸壁及び航路・泊地を国が整備し、埠頭用地及び荷役機械を県が整備することとなっており、今後、令和7年度末に暫定供用、令和9年度末に全面供用が予定されている。

問 唐浜地区国際物流ターミナル整備事業における今後の展望は

答 事業内容は、水深12mの耐震強化岸壁及び航路・泊地を国が整備し、埠頭用地及び荷役機械を県が整備することとなっており、今後、令和7年度末に暫定供用、令和9年度末に全面供用が予定されている。

問 唐浜地区国際物流ターミナル整備事業における今後の展望は

やまもと つよし
山元 剛



動画視聴 

その他の質問項目

- 公立小中学校におけるトイレの洋式化

問 京セラ周辺の安全対策及び渋滞対策は

答 本路線は、朝夕の通勤車両や通学する児童・生徒が多いことから、当面の安全対策として部分的な現道拡幅を行う。また、渋滞解消策として、京セラ周辺の整備について効果が期待されることから、中長期的な渋滞対策を考えながら本路線の整備を進めていきたい。

問 京セラ周辺の安全対策及び渋滞対策は

答 本路線は、朝夕の通勤車両や通学する児童・生徒が多いことから、当面の安全対策として部分的な現道拡幅を行う。また、渋滞解消策として、京セラ周辺の整備について効果が期待されることから、中長期的な渋滞対策を考えながら本路線の整備を進めていきたい。

問 京セラ周辺の安全対策及び渋滞対策は

答 本路線は、朝夕の通勤車両や通学する児童・生徒が多いことから、当面の安全対策として部分的な現道拡幅を行う。また、渋滞解消策として、京セラ周辺の整備について効果が期待されることから、中長期的な渋滞対策を考えながら本路線の整備を進めていきたい。

問 京セラ周辺の安全対策及び渋滞対策は

答 本路線は、朝夕の通勤車両や通学する児童・生徒が多いことから、当面の安全対策として部分的な現道拡幅を行う。また、渋滞解消策として、京セラ周辺の整備について効果が期待されることから、中長期的な渋滞対策を考えながら本路線の整備を進めていきたい。

と、再資源化の方向性と研究開発等による課題解決のためのソリューション事業の相互連携を図りながら、資源循環型で持続可能な社会の構築を目指している。

と、再資源化の方向性と研究開発等による課題解決のためのソリューション事業の相互連携を図りながら、資源循環型で持続可能な社会の構築を目指している。



薩摩川内市総合計画

問 ①第2次計画の評価

は②第3次計画の特徴は

答 ①概ね計画通りの進捗だが、急速な人口減少や人手不足については、取り組むべき喫緊の課題と認識している。②令和コミュニティトーク等の幅広い広聴活動の実施、6エリアを設定するゾーニングビジョン、SDGs等の理念に基づく重点戦略プランが特徴である。

問 第3次計画における原案の概要は

答 計画期間は2025年から2034年の10年間であり、目標年次を見据えた総合的な市政経営の指針として原案を作成した。また、本総合計画全体の通称を「薩摩川内

2034ビジョン」とし、本市の未来に向けて、市民・地域・市がそれぞれの役割等を意識・認識し、一体となってまちづくりを進めるためのビジョンに位置づけている。

地区コミュニティ協議会

制度と自治会制度

問 本市において地域づくりの在り方をどのように考えているか。

答 自治組織の基礎的な団体かつ基盤である地区コミュニティ協議会と自治会の活性化が、本市の活性化につながると認識している。現在進めている自治組織の在り方を検討する中において、自治組織が活用しやすい交付金や補助金の見直し等についても、決意と覚悟を持って進めていく。



国県事業の実施に関する要望活動

問 ①本年度の全体的な要望の概要とポイント

は②要望項目の1つ「効率的な物流拠点の誘致」の中で、トラックターミナル誘致に係る今後の展開と県の支援内容は

答 ①重点項目として、原子力発電所の安全確保、重要港湾川内港サーキュラー都市づくり、甌島区域の医療体制、産業人材確保及び移住定住促進の4分野8項目を、知事に直接要望した。②今後は、資源循環機能及び道路網・鉄道を組み合わせた効率的な物流機能として、JR貨物の乗り入れを大きなポイントと考えている。知事から、物流関係の企業誘致には、

県の補助金を活用できることから、連携して誘致活動を行っていきたい旨の意見をいただいている。

循環経済・産業拠点の創出

問 川内港久見崎みらいゾーンの①令和5年度分譲予約の申込状況は②九州・台湾クリエイティブウィークの内容と本市開催の目的は

答 ①売却予定面積14.8haのうち14.2haの分譲予約を受け付けている。②本フォーラムは本年11月15日から3日間開催され、日本・台湾・アメリカにおける産官学金の多様なキーマンが一堂に会する。目的は、九州と台湾の経済交流促進・経済人材のネットワーク確立、鹿児島県や薩摩川内市の経済発展ビジョンのアピール、SDGs及びカーボンニュートラル達成のための循環経済都市の実現である。



学校屋内運動場の有料化

問 スポーツ少年団等の学校施設利用は、なぜ突然有料化したのか。

答 施設利用の際には、照明の電気料は実費徴収する規定である。これまでも学校現場には周知を求めてきたが、本年4月に、再度対応を求める連絡をとった。

問 学校現場へ連絡したとのことだが、実際の利用者への連絡はどのような形で行ったのか。

答 教育委員会から学校へ文書を用いるなどの具体的な指示はしていない。文書等でお知らせし、保護者の理解を得るべきであったと考えている。

問 子育て世帯に対しても公共施設利用免除制度等の対策をとるべきではないか。

答 子ども・子育て支援に係る実費負担の徴収軽減については、使用料や実費徴収を含めた全体的な議論の中で整理すべきと考えている。

洋上風力発電

問 県主導で非公式な協議会を開催することが発表されたが、本市としてはどのように臨むのか。

答 洋上風力発電には大規模な開発が伴うため、関係者の理解や関係法令に基づく手続きには丁寧な説明が必要と考えている。地域の利用促進に関する法律に基づく国への情報提供については、本年度も情報提供を希望すると回答した。

その他の質問項目

- ①九州・台湾クリエイティブウィーク事業
- ②肥薩おれんじ鉄道に対する経営支援



人材確保策について

問 産業人材確保・移住定住戦略協議会の具体的な内容及び今後の展開は

答 本協議会は、行政、企業、関係団体、学校等で構成し、産業人材確保に関する団体間の情報共有、地元企業の認知度向上、市内学校卒業生の地元就職への啓発、人材確保に資する移住・定住施策の情報発信等を総合的に行う。今後は、県外就職後の早期離職者に対するUターン呼びかけの仕組みづくり、補助制度として現行の奨学金返還支援基金の拡充、関連する新たな基金の創設等を検討している。

問 医療福祉人材の確保における川内看護専門学校への支援策の内容は

答 当該学校において、少子化等で、学生の確保が厳しい状況を聞いている。そこで市としては、同校が新たに取組もうとしている学生確保事業として、市外からの入学生、一人当たり月額上限3万円を3年間家賃支給することで支援したい。

新型コロナウイルス感染症対策

問 ワクチン接種の期間や種類等の詳細は

答 9月20日から、令和5年度の秋接種を開始する。接種対象者は、生後6か月以上の全ての方で、使用するワクチンは、オミクロン株XBB1.5対応の1価ワクチンを基本とする。

その他の質問項目

○川内川花火大会
・イベントの規模と運営（主催者との連携状況）
・ドローンを用いたショーに対する認識



誘致・立地企業の状況

問 ①立地協定件数は②開業時の雇用者数は③現在の雇用者数と障害者雇用者数は④定着率は

答 ①20社25件②市内新規雇用者実績は570人（障害者4人）③答弁なし④把握していない。

各産業用地の状況

問 誘致する持続可能・資源循環型企業とは

答 SDGs、脱炭素化、リソーシング、ソリューション等に関する企業である。資源循環型で持続可能な社会の構築を目指す。循環経済・産

その他の質問項目

業都市の形成を目指す。
問 整備中の産業用地を含む①各用地の雇用者数は②障害者雇用者数は
①サーキュラー

パーク九州で32人の予定である。川内港久見崎みらいゾーン、高城産業用地、入来工業団地は示せない。②答弁なし

統廃する協議会等の実績

問 市長独自の協議会等について内容と結果は

答 現在8つ設置しており、調査結果を報告書で提言する等している。

問 集団広聴（トーク）の内容と市民の声は

答 トークは、市民が求めるサービスを適正に提供するために、市民のニーズ等を的確に把握する広聴活動である。令和コミュニティトークでは、景観保全や小学校の統廃合等の意見があった。

その他の質問項目

○海外からの進出企業
○今後も○トークを広げていく考えか。
○企業誘致だけで人口減少対策につながるのか。



肥薩おれんじ鉄道の存続

問 肥薩おれんじ鉄道の必要性について市としてどう考えているか

答 本鉄道は、通勤・通学などの住民の日常生活や、観光等の地域経済を支える重要な役割に加え、今後の物流問題におけるJ-Rの貨物輸送が、更に重要な輸送手段となること等により、存続の必要性が高いと考えている。

市町村振興協会への支援要請について、本市のスタンスは

答 本鉄道は、鹿児島県にとっても極めて重要な交通基盤と捉えており、県及び本市を含む沿線3市から支援継続をお願いしている。また、本協会の構成団体に対して

公共料金の徴収状況

問 市営住宅における住宅使用料の収入未済額が6千607万円であるが、今後の方針は

答 公平性確保の観点から、滞納が増加しないよう、日々の徴収事務に努める。

も丁寧な説明を行い、支援継続をお願いしている。
問 万が一、廃線となった場合、通勤・通学者向けの代替交通手段はどうするか。
答 一般的にバスの利用が考えられるが、喫緊の課題であるバスの運転手不足等を勘案すると、市内5駅の利用者に対応できる路線数の確保や費用額等が不透明である。このため、代替交通に係る具表的な試算ができていないのが現状である。



野菜を食べよう「薩摩川内市350ベジライフ宣言」の取組は

問 ①賛同する団体の年間を通しての取組は②野菜を毎日食べている人の割合は③野菜の日(8月31日)の普及啓発のため、野菜の苗か種を配布する考えはないか。

答 ①年間を通して野菜をメニューに取り入れるなど、意識して取り組んでいただいている。②71.5%である。③健康づくり推進協議会で意見を聞き、野菜摂取につながる取組を検討している。



問 塩分濃度計を購入した、飲食店や個人に対する助成金を検討できないか。

答 塩分の摂りすぎは高血圧等の生活習慣病と関係があると認識しているため、他自治体の取組等を調査・研究する。



その他の質問項目

①魚食普及のため、水産庁は毎月3日〜7日を「さかなの日」としており、魚を使用した料理教室等の対応が必要と思われる。本件についての考え方を問う。

②亀山地区の県道(須崎橋付近)にトイレの設置を望む声がある。本件についての考え方を問う。



森林整備

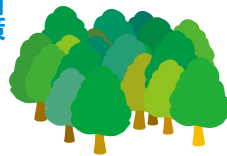
問 森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度とは

答 本制度は、手入れの行き届かない森林の経営管理を市町村や意欲と能力のある林業経営者に委託し、森林資源の適切な管理と林業経営の効率化を図るものである。制度概要は、十分経営管理されていない森林について、まず市が所有者に意向調査を行い、これを踏まえて経営管理を受託し、そのうち林業経営に適した森林は、林業経営者に再委託するものであり、この意向調査に森林環境譲与税を活用している。

問 所有者不明森林の特例措置について説明を

答 市町村に森林の経

営管理権を集積することが必要かつ適当と判断された場合に活用できる制度である。これまで活用の実績はないが、今後の森林経営管理において、必要に応じて活用を検討したい。



環境衛生対策

問 イエローチョーク作戦を行う考えは

答 放置された犬のふんの周りにチョークで印をつけ、再び訪れた飼い主に自主回収を促す活動で、霧島市では、飼い主のモラル向上や、ふんの放置対策への効果を期待して取り組まれている。本市でも啓発の手法として取り組んでいきたい。

その他の質問項目

○樋脇郷土館の整備及び寄贈品の管理



農業問題を問う

問 農業問題をどのよう

答 第2次総合計画の振り返りと、策定中の(仮称)第4次農林水産振興基本計画での意見等も考慮する形で反映させたい。

問 市長が農林水産業のイベントへ積極的に出席することで、市民の

答 農業(第1次産業)は、本市においても極めて重要な産業と位置付けており、持続可能な政策を備える必要がある。また、生産者とはこれまで直接対面によるふれあいを重視してきており、今後も続けていきたい。

問 J Aや農業公社に委託している農業開発総合センター果樹部北薩分

答 農業公社とJ Aによる共同の農業研修施設として活用する一方で、新たな研究事業等についても、関係者が一体となって運営方法の計画を立てていきたい。

川内港及び周辺整備の進捗状況

問 多様化する国際情勢の中で重要な事業と思われるが、進捗状況は

答 川内港は、国が直轄事業として総事業費160億円をかけて水深12mの耐震強化岸壁、航路・泊地を、県が附帯設備等の整備を行い、令和7年度末暫定供用と、令和9年度末完成を目指している。周辺整備としては、さつま町、伊佐市と本市で川内宮之城道路建設促進期成会を立ち上げた。



長浜港・里港の機能充実

問 静穏度（安全な運航の判断指標）を低く保つための県要望について、市の見解は

答 防波堤等の工事が未完成である長浜港は、対応策を要望し、外郭施設の整備が概ね完成している里港は、現地での意見収集や状況把握を行い、必要に応じた対応に努める。

問 里港におけるヨットハーバーの整備について、市の対応は

答 県の北薩地域振興局甌島支所によると、停泊状況の把握や係留施設等の必要性を十分に検討する必要がありとの回答であった。今後は、寄港するヨット等が岸壁へ接岸し、安全に乗降するた

めの対応策について、引き続き県に相談・説明していきたい。

甌島における滞在型観光の促進

問 現状の課題は

答 甌島独自の体験コンテンツの充実、冬場の閑散期や雨天時等の対応、受入れ環境の整備やターゲットを明確にした情報発信等と捉えている。

問 島内の受入れ体制について伺う。

答 宿泊施設や観光誘客施設事業者が施設を整備できる補助金の充実を図っているほか、市公認観光ガイドの掘り起こしやスキルアップに努めている。

その他の質問項目

○第3次薩摩川内市総合計画における甌島エリアビジョンの内容と方針



過去の質問に対する冠水対策への対応状況は

問 永田排水機場について過去の答弁に対するその後の経過は

答 2年間かけて関係機関との協議を進めているが、現在も協議中で、方向性は定まっていない。
問 春田川排水機場は計画的に対策をとられているが、永田排水機場はどのように進める考えか。

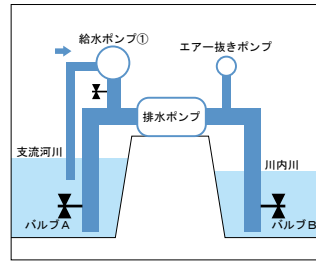
答 できるだけ設備更新に時間をかけずに対応できるように取り組んでいる。

その他の質問項目

問 ポンプの出力制御導入で起動時間を短縮する改造案と、下段の図で提案した排水機場の改造案についての見解は

答 出力制御の案は、

有効だと思つたので、今後、調査・研究したい。図の案は、専門家の意見を聞いて検討する。



問 銀杏木川から、上流は中郷川に、下流は銀杏木川の井堰以降にポンプ排出することも効果的と思われるが、どう考えるか。

答 中郷川への排出は難しい。銀杏木川下流への排出は一部可能と考えるので、今後、調査・研究したい。

その他の質問項目

①限之城高城線の今後のビジョンを確認する
②中心市街地振興と交通事情についての考えは



九州電力川内原発の安全協定違反について

問 市長は「規制基準への適合性が確認できなければ運転は一切認められない」という総理の国会答弁と同じ立場か。

答 総理のコメントと内容的には合致している。
問 火災防護対象ケーブルの工事が、新規規制基準に満たないことを知ったのはいつか。

答 令和5年3月29日に情報提供を受けた。
問 新規規制基準が求める工事をしていないケーブルの長さは

答 1号機が約540m、2号機が740mである。

問 このケーブル工事は、川内原子力発電所との安全協定書にある

関係法令等の遵守等に該当しないか。

答 安全協定第1条記載の関係法令に該当すると認識している。

問 九州電力は、川内原発を全国で初めて再稼働したが、新規規制基準に沿った工事をしていなかった。指摘後も基準どおりの工事まで至らず、「対象ケーブルの周囲に可燃物を配置しない」等の対応に留まっている。このことについて、なぜ謝罪と説明をしないのか。

答 市は、市民に対して丁寧な説明を行うよう、要請している。

その他の質問項目

①福島第一原発の汚染水の影響
②中学校事務職員の部活顧問
③国民健康保険の財源確保
④太陽光発電の出力制限

私たちが慎重に チェック!

委員会 報告

常任委員会

各常任委員会に付託された議案の審査等を行いました。意見・要望などは次のとおりです。

総務文教委員会

委員長 徳永 武次

9月8日開催

動画視聴



(1)議案第80号 財産の取得について

● 学校給食センターの機材については、食の安全を含めて、調理師、子ども達の安心・安全のために更に適切な更新に努められたい。

(2)議案第95号 令和5年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

● 九州・台湾クリエイティブウィークについては、今後の台湾との経済交流を促進していくためにも成功を期して臨まれたい。

(3)請願第5号 地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願書

紹介議員に請願の趣旨につ

いて説明を求め、慎重に審査を行った結果、請願の趣旨を了とし、採択すべきものと決定しました。

(3)所管事務の調査結果

① 現在、実施に向けて作業中であるタブレット端末の貸出しについては、各家庭におけるインターネット環境等も考慮しながら、家庭での活用策の検討を進められたい。



② 閉校跡地の利活用については、閉校跡地の活用を希望する市民や事業者等が相談しやすいような体制の構築を検討されたい。

9月25日開催

動画視聴



(1)議案第101号 決算の認定について(令和4年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算)のうち本委員会付託分

① 学校支援ボランティア事業については、良好な活動実績が見られるが、本事業が更に拡充され、当該ボランティア、PTAや地域の方々を含めて学校を盛り上げていく体制につながっていくよう指導されたい。

② 地域おこし協力隊員が、配置先の地区コミュニティ協議会等で活動を終えた際には、引き続き、本市内に居住され、新たな活動につながっていくような方策を検討されたい。

生活福祉委員会

委員長 阿久根 憲造

9月7日開催

動画視聴



(1)議案第81号 薩摩川内市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

「利便性が増す一方で、リスクも増える」という問題がある。セキュリティの問題を考えた場

合には不安を感じる」という反対討論と、「移動端末設備を利用した証明書の交付は個人の選択によるものであり、上位法の改正による条例改正は進めるべき」という賛成討論がそれぞれ述べられ、採決の結果、起立多数により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(2)議案第86号 北薩3消防本部指令センターシステム構築整備事業事業契約の締結について

● システム内の「映像119受信装置」は、本年、行政視察を行った愛知県岡崎市と同様のシステムであり、通報者の通信料金の負担やプライバシーの確保などが課題として挙げられていることから、本市においても、これらを踏まえた運用方法を研究されたい。



(3) 所管事務の調査結果

① 避難所については、市民が利用しやすい施設となるよう、空調の整備や学校施設の洋式トイレ改修などを行うとともに、適切な場所への移設を含めた整備を検討されたい。



② 生活保護家庭におけるひきこもりなどへの対応については、対象者への精神的な面もケアできるように関係課と連携しながら更なる保護活動に努められたい。

9月21日開催



(1) 議案第101号 決算の認定について(令和4年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算)のうち本委員会付託分

「マイナンバーカードの普及に多額の予算を使っていることは問題である。また、自衛官募集の適齢者名簿の提出については、今年度からは除外申請が始

まっているが、令和4年度については、全員の名簿が提出されているという問題がある」という旨の反対論が述べられましたが、採決の結果、起立多数により認定すべきものと決定しました。

(2) 議案第107号 決算の認定について(令和4年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算)

「国保税は高額であり、引き下げるべき」という旨の反対論が述べられ、採決の結果、起立多数により認定すべきものと決定しました。

(3) 議案第109号 決算の認定について(令和4年度薩摩川内市介護保険事業特別会計歳入歳出決算)

「介護保険料は、利用料が2割負担の方も出てきていることから、制度の改善が必要」という旨の反対論と、「市民の生活状況を網羅した予算が組まれた上で執行されているとともに、一般会計から約16億8千万円の繰入れがあり市民全体で支えている」という旨の賛成討論がそれぞれ述べられ、採決の結果、起立多数により認定すべきものと決定しました。

(4) 議案第110号 決算の認定

について(令和4年度薩摩川内市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算)

「後期高齢者医療制度は、高齢者を差別する制度であり廃止を求めると」という旨の反対論が述べられ、採決の結果、起立多数により認定すべきものと決定しました。

産業建設委員会

委員長 宮里 兼実

9月6日開催



所管事務の調査結果

● 特定都市河川の指定については、流域治水の観点から、水引地区の県河川をはじめ、毎年浸水が発生している河川についても、基本的な調査ができるよう追加指定できないか、国・県へ要望されたい。

9月26日開催



(1) 議案第101号 決算の認定について(令和4年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算)のうち本委員会付託分

① 本市は、耕作放棄地が県内

でも多い地域であるといった声もあることから、現在の取組に加え、耕作地として復活させる取組についても、関係課と連携しながら更なる対策に努められたい。

② 六次産業化を促進する事業において、農産物の海外輸出活動への支援が行われているが、海外への輸出を促進するためにも、GAP（農業生産工程管理）認証によって農産物の安全性等を確保するなど、更なる取組に努められたい。



海外輸出されるハウスきんかん

※GAP（農業生産工程管理）農産物の安全を確保し、より良い農業経営を実現するために、農業生産において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のこと。GAPの取組を実施することで、生産管理の向上、効率性の向上、農業者や従業員の経営意識の向上につながる効果があり、日本の農業競争力強化にもつながる。

特別委員会

特別委員会において、付託された陳情の審査等を行いました。概要は次のとおりです。

川内原子力発電所

対策調査特別委員会
委員長 成川 幸太郎

6月30日・

7月28日・9月12日開催

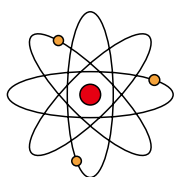
(1) 陳情第3号 高レベル放射性廃棄物処分施設建設調査についての陳情書

▼6月30日開催



委員間の自由討議により審査を行い、「高レベル放射性廃棄物処分施設建設調査について、陳情者の願意を確認したい」といった意見が述べられました。

その後、閉会中の継続審査事件とすることとし、陳情者の参考人招致を行うことを決定しました。



▼7月28日開催



陳情者の参考人招致を行い、委員から、陳情の願意について「なぜ今なのか」という疑問もあるが、岩盤調査と甌島への地下トンネルの利用、使用済核燃料の安全監視といったことと解してよいか」との質疑があり、参考人から「とにかくそのままである」旨の回答がありました。

また、文献調査に関する質疑があり、参考人から「文献調査は入り口として、調査して、掘削して石を見てもらいたい。石を見れば分かるといった声もある。難しいからこそ原発の地元としてやってもらいたい」旨の回答がありました。

陳情者への質疑の後、委員間の自由討議では、「本陳情について理解を深めるためにも、調査の時間が必要」といった意見があり、その後、本陳情の取扱いについて協議し、継続審査とすることとしました。

▼9月12日開催



委員間の自由討議により審査を行い、「地層処分に関する施設については、国の方針によるもの」、「高レベル放射性廃棄物

物処分施設の重要性については、原子力発電所の立地自治体としても重く受け止めなければならぬ」、「本陳情を広く解釈すると、文献調査を求めていると解されるが、今その時期に踏み込める段階ではない」といった議論がありました。

その後、本陳情の取扱いについて協議し、採決を求める意見が出されたことから討論に入りました。

討論においては、「委員会として文献調査の実施の可否を判断する段階ではなく、採決する理由を見出すことができない」、「高レベル廃棄物の管理の期間が長期に及ぶが、責任を負える」という科学的根拠は十分でなく、よって放射性廃棄物の処分については異議がある」という反対討論がそれぞれ述べられ、採決の結果、起立者なしにより不採決とすべきものと決定しました。

なお、この採決結果に対しては、「本市においては、政府のエネルギー政策に長年寄与してきたところである。今回の陳情は、高レベル放射性廃棄物の最終処分場に係る陳情である。最終処分場の必要性は十分理解しているが、最終処分場に係る手続に関しては、政府が主

体となり関与すべき事案であるので、本市において可否の判断は現時点では考えられない。」との意見を付することとしました。

(2)陳情第4号 原子力規制委員会からの基準地震動の見直しについて九州電力が対応に時間がかかっている理由の説明を求める陳情書

▼7月28日開催



委員から当局に対して、基準地震動の見直しについて、九州電力株式会社から説明を受けているかとの質疑があり、「新たな基準地震動について、原子力規制委員会での審査の中で、地下構造モデルにおいて算定した地震の揺れと実際発電所において観測した地震の揺れが整合していないとの指摘がなされ、新規基準に係る既許可モデルを今回審査するという事で申請された」と聞いている旨の答弁がありました。

その後、更なる情報収集が必要として、本陳情は継続審査とすることを決定しました。

▼9月12日開催



委員から当局に対して、基準地震動の見直しについて九州電力が対応に時間がかかっている理由について、当局が具体的に把握している事項に関して質疑があり、「九州電力が最新の知見等を反映させた上で設定した地下構造モデルを用いた地震の揺れと実際の地震の揺れとの間で相違が生じている状態である」旨の答弁がありました。

その後、本陳情の取扱いについて協議し、継続審査を求める意見と、採決を求める意見が出され、起立採決の結果、継続審査を行うことは否決されたことから、討論に入りました。

本陳情に対する討論はなく、採決の結果、起立少数により不採決とすべきものと決定しました。



各委員会開催日の下に掲載されているQRコードを読み取ることで、委員会の録画映像を確認できます。

意見書

次の意見書を可決し、関係行政庁等に提出しました。

件名	提出先
地方財政の充実・強化に関する意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣(こども政策少子化対策・若者活躍・男女共同参画)

議 決 結 果 等 一 覧 表

議案番号	件名	付託先	議決結果
議案第79号	薩摩川内市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 (全会一致)
議案第80号	財産の取得について(里・下甕学校給食センターの厨房機器一式)	総務文教委員会	原案可決 (全会一致)
議案第81号	薩摩川内市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	生活福祉委員会	原案可決 (賛成多数)
議案第82号	財産の取得について(大型じんかい車両)	生活福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第83号	薩摩川内市使用済核燃料税条例の制定について	生活福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第84号	財産の取得について(消防ポンプ自動車)	生活福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第85号	財産の取得について(高規格救急自動車)	生活福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第86号	北薩3消防本部指令センターシステム構築整備事業事業契約の締結について	生活福祉委員会	原案可決 (賛成多数)
議案第87号	薩摩川内市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	生活福祉委員会	原案可決 (全会一致)
議案第88号	財産の無償貸付について	産業建設委員会	原案可決 (全会一致)
議案第89号	財産の無償譲渡について	産業建設委員会	原案可決 (全会一致)
議案第90号	5災第1号市道江石里線道路災害復旧工事請負契約の締結について	産業建設委員会	原案可決 (全会一致)
議案第91号	道路メンテナンス事業開戸橋耐震補強(P3)工事請負契約の締結について	産業建設委員会	原案可決 (全会一致)
議案第92号	道路メンテナンス事業川内河口大橋耐震補強(P1)工事請負契約の変更について	産業建設委員会	原案可決 (全会一致)
議案第93号	道路メンテナンス事業川内河口大橋耐震補強(P3)工事請負契約の変更について	産業建設委員会	原案可決 (全会一致)
議案第94号	薩摩川内市景観条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設委員会	原案可決 (全会一致)
議案第101号	決算の認定について(令和4年度薩摩川内市一般会計歳入歳出決算)	総務文教委員会 生活福祉委員会 産業建設委員会	認 定 (賛成多数)
議案第102号	決算の認定について(令和4年度薩摩川内市温泉給湯事業特別会計歳入歳出決算)	生活福祉委員会	認 定 (全会一致)
議案第103号	決算の認定について(令和4年度薩摩川内市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算)	生活福祉委員会	認 定 (全会一致)
議案第104号	決算の認定について(令和4年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算)	産業建設委員会	認 定 (全会一致)
議案第105号	決算の認定について(令和4年度薩摩川内市天辰第二地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算)	産業建設委員会	認 定 (全会一致)
議案第106号	決算の認定について(令和4年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算)	産業建設委員会	認 定 (全会一致)
議案第107号	決算の認定について(令和4年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算)	生活福祉委員会	認 定 (賛成多数)
議案第108号	決算の認定について(令和4年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算)	生活福祉委員会	認 定 (全会一致)
議案第109号	決算の認定について(令和4年度薩摩川内市介護保険事業特別会計歳入歳出決算)	生活福祉委員会	認 定 (賛成多数)

議案番号	件名	付託先	議決結果
議案第110号	決算の認定について(令和4年度薩摩川内市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算)	生活福祉委員会	認定 (賛成多数)
議案第111号	剰余金処分及び決算の認定について(令和4年度薩摩川内市水道事業剰余金処分及び令和4年度薩摩川内市水道事業会計決算)	生活福祉委員会	剰余金処分は原案可決 決算は認定 (全会一致)
議案第112号	剰余金処分及び決算の認定について(令和4年度薩摩川内市簡易水道事業剰余金処分及び令和4年度薩摩川内市簡易水道事業会計決算)	生活福祉委員会	剰余金処分は原案可決 決算は認定 (全会一致)
議案第113号	剰余金処分及び決算の認定について(令和4年度薩摩川内市下水道事業剰余金処分及び令和4年度薩摩川内市下水道事業会計決算)	生活福祉委員会	剰余金処分は原案可決 決算は認定 (全会一致)
議案第114号 ～ 議案第117号	人権擁護委員候補者の推薦について(4人)	—	同意 (全会一致)
議案第118号	鹿児島県市町村総合事務組合規約の変更について	—	原案可決 (全会一致)
議案第119号	公平委員会委員の選任について	—	同意 (全会一致)
議案第120号	教育委員会委員の任命について	—	同意 (全会一致)

※ 議決結果欄について、「全会一致」は議長を除く出席者全員が賛成であったことを示します。

※ 議案第95号から第100号までの令和5年度補正予算に関する議案6件については掲載を省略しました(いずれも原案可決/全会一致)。

請 願 ・ 陳 情 の 処 理 状 況

請 願

請願番号	件名	提出者	紹介議員	付託先	結果
請願第5号	地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願書	薩摩川内市職員労働組合	成川 幸太郎	総務文教委員会	採択 (全会一致)
請願第6号	「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の提出を求める請願書	熊之細 真美	犬井 美香	総務文教委員会	閉会中の 継続審査

陳 情

陳情番号	件名	提出者	付託先	結果
陳情第3号	高レベル放射性廃棄物処分施設建設調査についての陳情書	ミツロ 一所	川内原子力発電所対策調査特別委員会	不採択 (賛成少数)
陳情第4号	原子力規制委員会からの基準地震動の見直しについて九州電力が対応に時間がかかっている理由の説明を求める陳情	川内原発建設連絡協議会	川内原子力発電所対策調査特別委員会	不採択 (賛成少数)
陳情第7号	九州電力の再生可能エネルギー促進と出力制御について説明を求める要請についての陳情書	川内原発建設連絡協議会	産業建設委員会	閉会中の 継続審査
陳情第8号	川内原子力発電所1、2号機の40年超運転を求める陳情	薩摩川内市原子力推進期成会	川内原子力発電所対策調査特別委員会	閉会中の 継続審査
陳情第9号	川内原発の安全対策工事の不備についての陳情書	さよなら原発のちの会	川内原子力発電所対策調査特別委員会	閉会中の 継続審査
陳情第10号	使用済み燃料の管理容量と乾式貯蔵施設の建設有無について説明を求める要請についての陳情書	川内原発建設連絡協議会	川内原子力発電所対策調査特別委員会	閉会中の 継続審査

《主な議会の動き》

- 7月12日 生活福祉委員会行政視察
(～14日まで)
- 12日 産業建設委員会行政視察
(～14日まで)
- 25日 川内原子力発電所対策
調査特別委員会行政視察
(～27日まで)
- 28日 川内原子力発電所対策
調査特別委員会
- 8月22日 本会議[初日]
- 31日 本会議[一般質問]
(9月1・4・5日)
- 9月6日 常任委員会
(～8日まで)
- 11日 特別委員会(12日)
- 20日 本会議
- 21日 常任委員会[決算]
(25・26日)
- 10月5日 本会議[最終日]

※日程は変更になる場合があります。
※最新の情報は、議会事務局へのお電話か、市議会のホームページにて、ご確認ください。

【議会事務局】

☎ 0996-22-8115
(内線 3010)



【市議会ホームページ】



本会議日程



委員会日程

第4回(12月) 定例会 予定

	日	月	火	水	木	金	土
11月	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28 本会議 (初日)	29	30	1	2
12月	3	4	5	6	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9
	10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 常任委員会	14 常任委員会	15 常任委員会	16
	17	18	19	20	21	22 本会議 (最終日)	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

燃ゆる感動 かがしま国体

特別国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2023

「国民体育大会」は、次回から「国民スポーツ大会」へと名称が変更されます。薩摩川内市議会では、「国民体育大会」として最後となる本大会を、議員総出で応援しました。



議場にてポロシャツを着用し国体をPR

編集後記

10月7日(土)から始まった「燃ゆる感動かがしま国体」は、最後の国体として10月17日(火)の総合閉会式をもって無事閉会しました。51年ぶりの本県開催ということもあり、多くの皆様が各競技選手の白熱したプレーにたくさんの感動を覚えたことと思います。

また、役員や競技スタッフ、ボランティアの方々など、多くの皆様に支えられ開催できた大会でもありました。何かを成し遂げるためにはこの「縁の下の力持ち」の存在が大きく、本市においても市民一人ひとりの存在や思いが大切であることを改めて感じました。

(大井 美香)

広報委員会

- | | |
|--------|---------|
| (委員長) | 山 中 真由美 |
| (副委員長) | 山 元 剛 |
| (委員) | 落 口 久 光 |
| | 犬 井 美 香 |
| | 坂 口 正 幸 |
| | 溝 上 一 樹 |

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



市議会だよりは、国産竹を10%使った紙(中越パルプ工業株式会社川内工場で製造)を使用しています。